

4.5. マル種 / Riemann面 / 等角描寫 = ツイテ

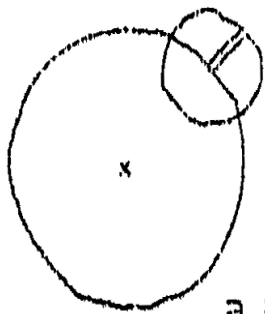
小林 善一 (東京高師)

今看 / 數物總會 = "アル種 / Riemann面 = 對スル一 點ヲ 除イタ一枚 / 全平面 = 等角 = 描寫 テ"キル 爲 / 一ツ / 十分條件ヲ 述ベタ。

今 Riemann面 F ガ

I F = 屬スル 円板 (單葉又ハ複葉)ヲ 作ルトキ一 點ヲ 除ケバ スベテ。此ノ 内 點ガ F = 屬スルヲ 示シ 此ノ 一 點モ 亦 F = 屬スル。

II F / 單葉 円板 D / 周上 = アル Rand-point ハ 之ヲ 中心トシ 半徑 = 割ツテ 切断 / アル F / 切断 円板ガ 作レル。但シ 切線ハ D / 周ト 直角 = 外方 = 向フモノトスル。



III F ハ 單一連結 テ"アル。

ヲ 満足スルモノトシ 之ヲ (K)-class ト呼バウ。

周 = 少クモ 一ツ / 特異 點ノ 有ル 円板 (單葉)ヲ 生産 円板ト 呼ビ"ソノ 特異 點 (有限 / モノ) カラ 円板ノ 中心 = 引イタ 直線ヲ 生産 矢線ト 呼フ"コト = スル。

生産 円板ノ 球面 中心 (円板ノ 球面 射影ヲ 全スル 球面 円板ノ 中心 = 對應スル 點)ノ 軌跡 亦ハ 連結的ノ 線系 テ"アル。之ヲ S トスル。
 F ヲ 位相 變換 = ヨツテ一 點ヲ 除イタ 全平面 = 描寫 スルトキ S ノ 描寫ヲ T トシ T ヲ、位相 樹木ト 呼フ"コト = スル。位相 樹木ノ 弧ノ 角長トハ 對應スル = 円板ノ 分岐 點ヲ 共有スル 生産 矢線ノ 間ノ 角ヲ 基トシテ 測ルコトトシ T ノ 任意ノ 點 a ヲ 定メ a_0 = 結フ" T ノ 單一 曲線ノ 角長ノ

最小ヨモツテ t_0 。カラ、角距離ト呼ブコトスル。

t_0 。カラ θ ナル角距離 = アル T 、角、数ヲ $\mu(\theta)$ 、又

$$\lambda(\bar{\theta}) = \max_{\theta \leq \bar{\theta}} \mu(\theta)$$

トオク。又 $\theta < \bar{\theta}$ = アル T 、角長、和ヲ $P(\bar{\theta})$ トスルハ"

$$P(\bar{\theta}) = \int_0^{\bar{\theta}} \mu(\theta) d\theta \leq \bar{\theta} \lambda(\bar{\theta})$$

定理 I. (K)-class, Riemann 面 $F =$ 於テ $\int_{\theta_0}^{\infty} \frac{d\theta}{\theta \lambda(\theta)}$ が發散スレバ F ハ拋物的テ"アル。

が放セスル。春、報告、際、 F 、無限遠点 = ハ特異点、+イコト、及ビ"

t_0 = 対応スル生産円極、中心カ有限 = アルコト、等、條件ハ取り去り得ル。

尚、コ、定理テ、アル種、楕円函数ナリハバ、 S 、逆函数、Riemann 面 = ハ効力カ及バテ。

進 = テ"

定理 II (K)-class, Riemann 面 $F =$ 於テ $\int_{\theta_0}^{\infty} \frac{d\theta}{f(\theta)}$ が發散スレバ F ハ拋物的テ"アル

が証明テ"キル様テ"アル。之ダト I ヨリ多少有カテ"アルカ"前記、例 = 効果、及バ"イコトハ前ト同様テ"アル。

定理 II、証明、根拠ハ次、通りテ"アル。

面 F γ = 次、線 = ヨツテ \equiv 角形、又 δ = 角形'範圍 = 分ケル。

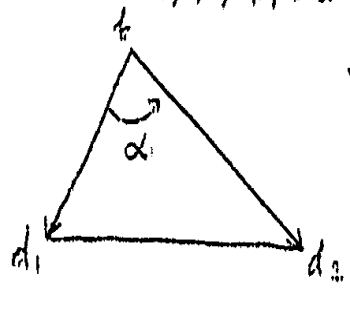
1° 生産中心、軌跡

2° 定円極 D_0 (t_0 = 対応スル θ_0)、 δ 、 γ 、生産矢線

3° 節円板 (周 = 三以上 / 分岐的 / アルモ) / スベテ / 生産矢線

4° 極限円板 (楕円木下 / 節尖, 定尖 t_0 / 含まず / 単一弧上 t_0)

カラ / 角距離, 最大 + アルモ = 対応スル円板) / スベテ / 生産矢線



ソノ中一ツ t, d_1, d_2 ヲトル。

- t : 分岐尖
- t, d_1, t, d_2 : $2^\circ, 3^\circ, 4^\circ$ / 何レカ = 属スル矢線
- d_1, d_2 : 1° 部分

D. カラ / 角距離 θ ヲ増加スル = ツルテ 対応スル矢線 g が t ヲ中心ニテ 反時計廻リヲナスモノヲ (+) 類, 時計廻リヲナスモノヲ (-) 類ト呼バウ。 (+) 類 = 左テハ

$$(1) \quad y = \log(w - t) + (m - a) i$$

- 但シ
- w : F / 複素平面ヲ表ハヌ数
 - $a = \text{Amp}(d_1 - t)$
 - m : t, d_1 / D. カラ / 角距離

= ヨリテ $\Delta t, d_1, d_2$ ヲ $m < \text{J}(y) < m + \alpha$

= 描寫スル。 (-) 類 / $\Delta t, d_1, d_2$ ヲトルトキ

$$(2) \quad y = \overline{\log}(w - t) + (m + a) i \quad \text{但シ } \overline{\log} \text{ ハ } (\log) \text{ ノ 共轭 函数}$$

= ヨリテ $m < \text{J}(y) < m + \alpha$ = 描寫スル。

F ハ (1) スハ (2) = ヨリテ 部分的等角 (角 / 対応ハ \pm = 様) = 塙状面 Y = 描寫カレル。 次 = F ヲ

$$Z = Z(w)$$

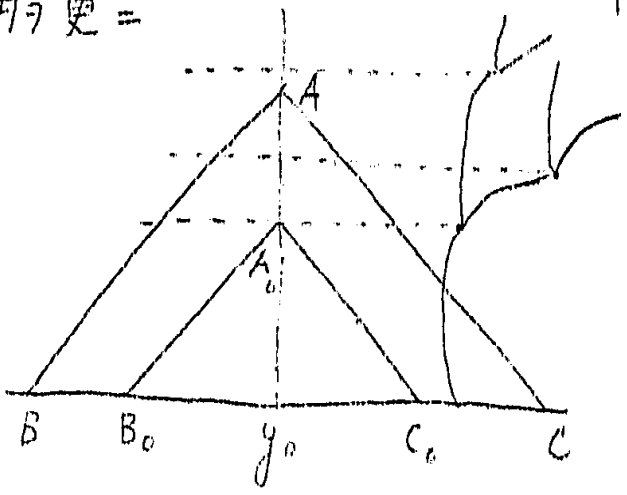
=ヨツテ、 $|z| < R$ = 描写シ此ノ内ヲ更 =

$$u = \log z$$

=ヨツテ帯状'範圍

$$0 \leq J(u) < 2\pi$$

=描写スル。



p_0 ハ定円極 D_0 ノ一矢線上ノ有限

点トシ Y 上 = y_0 ニ、 z 平面テハ $z=0$ ニ対応スルモノトスル。

Y ヲ y_0 ヲ斜辺ノ中点トスル直角三角形 ABC テ"ケル。ソノ内部ヲ $Q(\theta)$ (但シ $\theta = y_0 A$) トスル。切ロハ Y ノ内点ヲ走ル故。

$Q(\theta)$ = z -平面テハ $q(\theta)$ カ、 u -平面テハ $q'(\theta)$ カ"対応スルモノトシ之等ノ周ハ夫々内点ヲ走ル。

$q(\theta)$ ハ $z=0$ ヲ含ミ $|z|=R$ ニ含まレル故 $z=0$ ヲ含ム少クトモ一ツノ巡回路各カアル。故 = $q'(\theta)$ ノ周ハ帯ノ内部ヲ走り周ノ長サ $l(\theta)$ ハ

$$(3) \quad l(\theta) \geq 2\pi$$

且
$$l(\theta) = \int_{BAC} \left| \frac{du}{dy} \right| |dy|$$

テ"アル。 Schwarz 1 不等式 = \Rightarrow リ

$$(4) \quad 4\pi^2 \leq (l(\theta))^2 \leq \int_{BAC} |dy| \int_{BAC} \left| \frac{du}{dy} \right|^2 |dy|$$

然ルニ =

$$(5) \quad \int_{BAC} |dy| \leq 2K_1 \int_0^\theta n(\theta) d\theta, \quad \text{但シ} \begin{cases} K_1: \text{常数} \\ n(\theta): \text{ハ高サ} \theta = \text{旋} \\ \text{ケル } Y \text{ノ葉数} \end{cases}$$

又 $B_0 A_0 C_0$ 及び BAC テ カコマルル 範圍 = 対応スル 帶狀 範圍

1 面積ヲ $A(\theta)$ トスルト

$$(6) \quad A(\theta) = K_2 \int_{\theta_0}^{\theta} \left\{ \int_{BAC} \left| \frac{du}{dy} \right|^2 |dy| \right\} d\theta \quad \begin{array}{l} K_2 \text{ ハ 常数} \\ \theta_0 = y_0 A_0 \end{array}$$

テナル。故 =

$$(7) \quad \frac{1}{K_2} \frac{dA}{d\theta} = \int_{BAC} \left| \frac{du}{dy} \right|^2 |dy|$$

(4), (5), (7) カラ

$$2\pi^2 \leq \frac{K_1}{K_2} \int_0^{\theta} n(\theta) d\theta \times \frac{dA}{d\theta}$$

$$\therefore \frac{K_3}{\int_0^{\theta} n(\theta) d\theta} \leq \frac{dA}{d\theta} \quad K_3 \text{ ハ 常数}$$

$$\therefore K_3 \int_{\theta_0}^{\theta} \left\{ \frac{1}{\int_0^{\theta} n(\theta) d\theta} \right\} d\theta \leq A(\theta) \leq 2\pi (\log R - \log R_0)$$

$$R_0 = \min_{y \in A_0 B_0 C_0} |z|$$

故 = $\int_{\theta_0}^{\theta} \left\{ \frac{1}{\int_0^{\theta} n(\theta) d\theta} \right\} d\theta$ が 發散 スルハ F ハ 非力 物 的 テナル。

ニカル = F = 力ニケル 節 テイ 生産 兩極、分岐 集カニ ツ 其 有限 トラハ 矢線ハニツ。ニツタケ 有限 トラハニツ テナルカラ、

$$\mu(\theta) \leq n(\theta) \leq 2\mu(\theta)$$

$$\therefore P(\theta) = \int_0^{\theta} \mu(\theta) d\theta \leq \int_0^{\theta} n(\theta) d\theta \leq 2 \int_0^{\theta} \mu(\theta) d\theta.$$

9年10月18日 受取。